人権同和教育情報

読んで納得！　使って実感！　～人権教育研修資料～

人権同和教育課

これまでの資料の活用を図りましょう。

令和２年度

教職員の意識調査結果
MomGs

令和３年度

特集
子どもの命を守るために

令和４年度

特集
インターネットと人権侵害

令和５年度

同和問題　基礎資料

令和６年度版では…

令和６年度

今回新たに加わった人権課題

- アイヌの人々の人権
- 刑を終えて出所した人等の人権
- 生活困窮者の人権
- 人身取引
- 災害時の人権問題
- ビジネスと人権

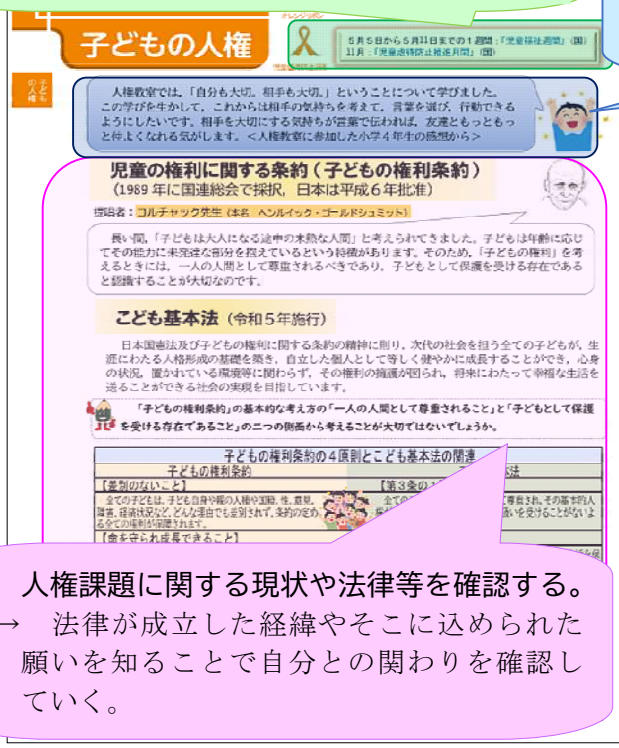
平成 31 年度版「様々な人権課題」では 12 の人権課題を取り上げましたが，令和６年度版では 18 に増えました。この５年間で，生徒指導提要の改訂や「こども基本法」等の新法の施行等があり，人権を取り巻く環境が大きく進展しています。本資料を活用しながら人権課題についての知識や認識をアップデートしていくことが必要です。

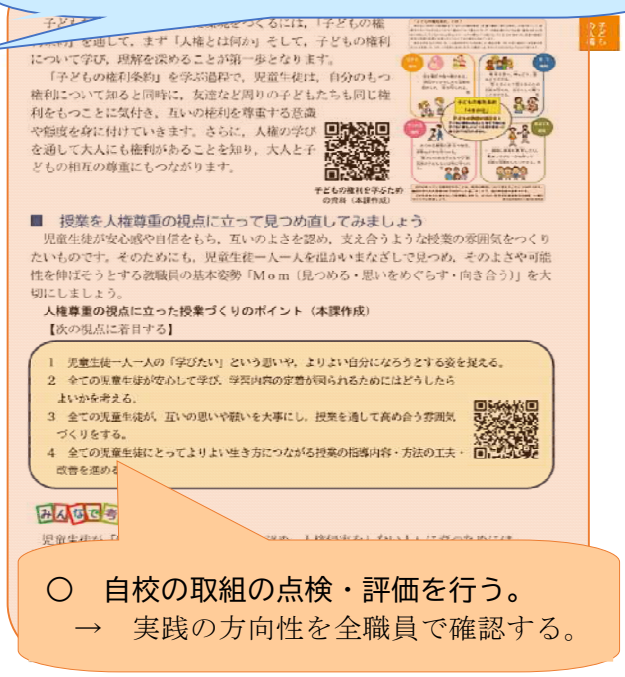
表紙写真の「アスター」の花言葉は「多様性」です。私たち一人一人も多様な社会の一員として人権課題を学び続けていきましょう。

活用する際のポイント

○　記念日・週間等を行事黒板等に掲載する。
→　年間を通して日常的に意識付けを図る。

○　児童生徒の学びのゴールイメージをもつ。
→　人権課題を学ぶことを通して，日常生活での実践行動につなげる。





○　人権課題に関する現状や法律等を確認する。
→　法律が成立した経緯やそこに込められた願いを知ることで自分との関わりを確認していく。

○　自校の取組の点検・評価を行う。
→　実践の方向性を全職員で確認する。